

《 行きたい学校 行かせたい学校 》



かなめだより

豊島区立要小学校
学校だより 11月号
令和7年10月31日



要小学校
ホームページ

「ちゃんと見ているよ」というまなざしを

校長 渡部 貴美子

10月の運動会には、多くの地域・保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちは練習の成果を発揮し、力いっぱい走り、踊り、笑顔あふれる一日となりました。皆様の温かい声援が、子どもたちの大きな励みとなりました。また、運営をお手伝いいただいたPTA・おやじの会の皆様にも、心より感謝申し上げます。

さて、早いもので11月、霜月を迎えました。朝夕の冷たい空気が秋の深まりを感じさせます。木々の葉が思い思いの色に染まり、「山粧(よそお)う」季節がやってきました。今年は秋が駆け足で過ぎていきそうです。

ところで、1学期に実施した学校評価の設問17「お子さんは自分の良いところをわかっていますか。」への肯定的な回答は76.3%でした。昨年度よりやや下がったこの数値を、どのように受け止めたらいのでしょうか。そこで今回は、「自分の良いところ」「わが子の良いところ」を改めて見つめ、認め合う時間をもっていただきたいと思い、この文章を書いています。

設問17： お子さんは、自分のよいところを分かっていますか。

		年度	肯定 保護者	分らない 保護者
R7保護者	24.6%			
R6保護者	22.5%			
	51.7%	R7	76.3%	3.0%
	20.2%	R6	80.3%	2.3%
	0.5%			
	3.0%			
	16.4%			
	1.0%			
	3.3%			

「ほめること」は、子どもの成長を支える大切な力です。けれども、ただほめるだけが大事なのではありません。「ちゃんと見ているよ」というまなざしこそが、子どもにとって一番の安心につながります。結果や点数だけでなく、「その過程を見ている」「努力している姿を知っている」と伝えることが、子どもの心をしっかりと支えるのです。たとえば、テストで良い点を取ったときに「すごいね!」とほめるのも嬉しいことですが、「毎日少しずつ勉強していたね」「苦手なところもがんばっていたね」と、努力の過程を認める言葉をかけると、子どもは「自分をわかってもらえた」と感じます。結果だけでなく、過程を見てくれる大人の存在が、子どもに「次もがんばろう」という意欲を生み出します。

学校でも、子どもたちが友だちの良いところを見つけ、温かい言葉で伝え合う活動を行っています。職員室前廊下には、友だちにしてもらってうれしかったことを書いたイチョウの葉カードを貼った「かなめの木」を掲示しています。「〇〇してもらってありがとう」と書かれたカードを見て、言われた子は自信と喜びを感じます。そして、「人のがんばりを見つけて伝える」ことの大切さを学びます。相手を認めることが、自分を大切にすることにつながるのです。

ご家庭でも、お子さんの毎日の中に「小さながんばり」を見つけてみてください。朝自分で起きたこと、あいさつができたこと、宿題を最後までやりきったこと——どれも立派な成長の証です。うまくいかなかったときも、「ここまでではできたね」「昨日より少し進んだね」と声をかけるだけで、子どもは前向きな気持ちになります。

また、私たち大人自身も、結果ではなく過程を大切にする姿勢をもちたいものです。家庭や仕事、地域で日々努力している自分を「よくやっている」と認めることも、心の健康につながります。自分を肯定できる人が、まわりの人を温かく見守ることができるのです。

東京都では、「誰もが自分らしく生きられる社会」を目指し、人権を尊重する取り組みが進められています。本校でも互いのよさや違いに気づき、自信をもって自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成を目指しています。学校だけでなく、家庭や地域の中で、相手の努力や思いを見つけて言葉にする——その積み重ねが、人を大切にできる社会をつくっていくと考えています。

秋が深まるこの時期に、もう一度「見る」「認める」「伝える」という温かい関わりを意識してみましょう。結果よりも努力、評価よりも気づき——そのまなざしが、子どもたちの心を大きく育てていきます。

11月の生活目標「進んで仕事をしよう」

生活指導部

5・6年生で活動する委員会活動では、学校全体をよりよくするため、様々な活動を行っています。「責任をもって仕事をする」「みんなのためになる仕事をする」ことなどを通して、集団の中で自分が役に立っていることを実感できるようにし、児童一人一人の自己有用感の高まりにつなげていきます。

また、11月は、「ふれあい月間」です。いじめ、不登校、暴力行為等の未然防止やその対応に関わる取組の充実を図っていきます。本校では、いじめのない温かい学級づくりを進めるために、児童全員へのアンケートと面談を実施し、いじめを防止するための道徳授業なども行っていきます。